

学校教育目標

芽ばえ輝く ～ 未来を拓く 5つの芽 ～

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまわりを守る子(信頼の芽)

秋の深まりとともに、子どもたちの学びも一段と深まる11月となりました。朝夕の冷え込みの中でも、子どもたちは元気に登校し、教室には落ち着いた雰囲気の中で真剣に学びに向かう姿が見られます。日々の授業や活動では、一つひとつの課題に主体的に取り組み、友達と協力しながら学びを広げていく姿が増えてきました。実りの多いこの季節、子どもたちの成長を確かに感じています。今月もさまざまな行事が予定され、学びの場がさらに豊かに広がっていきます。その様子を、以下でご紹介いたします

5年七宝焼学習 11/13

5年生の児童が七宝焼アートヴィレッジと田村七宝工芸を訪問し、伝統工芸である七宝焼の魅力に触れる体験学習を行いました。七宝焼の歴史や工程について分かりやすく説明していただき、子どもたちは「金属に色ガラスをのせて焼くと、どうして光沢が生まれるのか」「どんな道具を使うのか」など、興味津々で話を聞いていました。今回の体験を通して七宝焼への理解をいっそう深め、今後の作品づくりに生かしていけそうです。お忙しい中、丁寧にご指導くださった皆様に心より感謝申し上げます。



クレーン車をみたよ 11/14

現在、グラウンドでは夜間照明の撤去工事が進められています。1年生が「はたらくくるま」の学習の一環として、作業の様子を見学しました。目の前でクレーン車が大きな柱をつり上げる様子に、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。工事関係者の皆様、子どもたちの学びの機会をつくっていただき、ありがとうございます。



葉の標本づくり 11/14

2年生は、校庭で拾った色とりどりの葉を使って「葉の標本づくり」に取り組みました。形や色の違いをよく観察し、自分だけのレイアウトを工夫しながら並べていきます。葉が動かないよう、両面テープで丁寧に固定し、世界に一つだけのすてきな標本が完成しました。

子どもたちは、友達と相談しながら楽しそうに制作していました。秋ならではの学習を通して、自然への興味がさらに広がったようです。



小中交流会 11/18

宝小学校と秋竹小学校の6年生が、七宝北中学校で開催された小中交流会に参加しました。昼食の時間には、中学生と一緒に、自分で工夫して作ってきた弁当を囲みながら、和気あいあいとした雰囲気の中で会話が弾みました。6年生にとって興味いっぱいのお話をたくさん聞くことができました。

昼食後には体育館に会場を移し、芸術鑑賞会が行われました。オーケストラによる迫力ある生演奏が始まると、子どもたちは思わず背筋を伸ばし、音楽の世界に引き込まれていました。間近で感じる楽器の響きや演奏者の表情に、6年生は目を輝かせながら聴き入り、心が動かされるひとときを過ごしました。

中学校入学を控える6年生にとって、この交流会は、未知の世界への期待やあこがれをいっそう大きくする貴重な機会となりました。先輩たちとの出会いと芸術体験を通して、「中学校生活もがんばりたい」という前向きな気持ちが芽生えた、充実した一日となりました。

